

朝 監 第 31 号
令和 2 年 12 月 24 日

朝来市長 多 次 勝 昭 様

朝来市監査委員 山 下 廣 司
同 太 田 茂

令和 2 年度前期定期監査等結果報告書の提出について

地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 199 条の規定による監査を実施した
たので、その結果に関する報告を提出します。

令和 2 年度

前期定期監査等結果報告書

朝来市監査委員

目 次

第 1	監査の概要	1
第 2	監査の結果及び意見	2

令和2年度前期定期監査等結果報告

第1 監査の概要

1 監査の種類

地方自治法第199条の規定に基づく監査

2 監査の対象

(1) 監査対象部局

市長公室 秘書広報課、総合政策課、総務課、財務課
まちづくり協働部 市民協働課、和田山地域振興課、芸術文化課
生野支所、山東支所、朝来支所

(2) 対象期間

令和2年4月1日から9月30日まで

(3) 監査対象事項

市の財務に関する事務の執行及び一般行政事務の執行に関して、以下の事項に主眼をおいて監査を行った。

ア 事業管理状況

イ 予算執行状況

ウ 収入事務、支出事務

エ 契約事務

オ 市単独補助金の交付状況

カ 負担金、分担金の徴収状況

キ 使用料、手数料等の滞納・収納状況

ク 行政財産、普通財産の使用許可状況

ケ 施設、物品、現金、金券類の管理状況

コ 職員の勤怠管理、公務旅行に関する事項

3 監査の期間

令和2年10月19日から12月21日まで

4 監査の方法

書類調査として、監査対象部局から提出された監査資料、勤怠管理及び公務旅行に関する帳簿類の内容を点検した。また、実地調査として、事務事業執行状況や職員の勤務状況等に関する聞き取り、契約関係書類及び補助金交付関係書類の点検、現金及び物品の管理状況の点検、土地や施設の管理状況の実見を行った。

書類調査及び実地調査の後、監査対象部局との面談を実施し、事業の進捗やその経済性、効率性、有効性について、また、現在認識している課題とその対応策について聴取した。

また、本報告書提出に先立ち、朝来市監査基準第 20 条に定める講評を実施した。

5 監査の着眼点

(1) 共通事項

ア 事務は関係法令等に基づいて適正に行われているか。

イ 過去の指摘事項や監査意見に対する取組、改善がなされているか。

(2) 財務事務に関すること

ア 予算の執行は計画的かつ効率的に行われているか。

イ 契約の方法及び手続等は適切であるか。

ウ 委託業務や補助事業等の履行確認は適切に行われているか。

エ 現金、郵券等の保管及び取扱いは適切か。

オ 財産の管理・点検体制は確立され、有効に機能しているか。

(3) 一般行政事務に関すること

ア 事業は住民の福祉の増進に役立っているか。

イ 事業は経済性、効率性、有効性を十分考慮されているか。

ウ 職員の勤務状況は適正か。

エ 業務の改善と効率化を図り、合理化に努めているか。

第 2 監査の結果及び意見

1 総括

財務に関する事務の執行及び一般行政事務の執行については、一部において改善・検討を要する事項が見受けられたものの、総じて適正に執行されていると認めた。以下に意見を付してその状況を記載する。

(1) 事務の執行に関すること

新型コロナウイルス感染防止のため、イベントやコンサートなどを中止、延期せざるを得ない状況で、婚活事業や移住フェア等の事業をオンラインによって実施し、事業目的の達成に向けた工夫をしていることを評価したい。引き続き、感染予防対策には万全を期し、目標達成のために創意工夫し、事業の推進に努められたい。

なお、事務の執行に当たっては、法令・例規はもとより、ガイドラインやマニュアル等に沿った効率的で透明性の高い市政運営を望む。

(2) 物品の管理に関すること

備品台帳を基に物品の管理状況を点検した結果、記載事項漏れ、台帳外物品の保有、管理シール未貼付等の不備・不整合事例を検出した。物品管理の程度は部局によって格差がある。適切な管理に向けて、各部局の管理状況を実見の上指導を行う措置が必要であると思われる。

また、公用車の一部では車内に煙草の吸い殻等が残されていた。適切な管理の徹底を図りたい。

(3) 職員の勤怠管理に関すること

提出された就業週報・月報、休暇簿、旅行命令簿兼復命書等については7月から9月までの3月分を抽出して試査を、時間外勤務命令簿及び食糧費支出負担行為伺については全件精査を行った。その結果、記載誤りや軽微な不備・不整合を検出した。

なお、このたびの監査対象部局の勤怠管理は、これまでと比べて改善が見られた。

2 部局別事業実施状況及び監査意見

監査対象部局の事務分掌、主要事務事業の実施状況、監査結果に関する意見は次のとおりである。

なお、本文中の金額は千円単位で表記している。また、主要事務事業の実施状況、予算現額、支出済額及び予算執行率は、令和2年9月30日現在の状況を記載している。

(1) 市長公室 秘書広報課

ア 事務分掌

主に秘書、叙勲・表彰、国際交流、広報・広聴、ふるさと寄附金等に関する業務を担当している。

イ 主要事務事業の実施状況等

① ふるさと寄附金事業

[予算現額 350,000 千円 支出済額 34,094 千円 予算執行率 9.7%]

地域資源のPR、まちづくりの推進、市民満足度の向上等を目的として、ふるさと寄附金の受付、返礼品の発送等に取り組んでいる。

4月から9月までの間の寄附金額は105,794千円であり、前年同期間の寄附金額(108,522千円)に比べて2,728千円(2.5%)減少している。

ウ 監査意見

特になし

(2) 市長公室 総合政策課

ア 事務分掌

主に市行政施策の企画及び総合調整、総合計画、行財政改革、行政評価、交通政策、地域振興・地域づくり施策、地方創生の推進、定住・移住施策等に関する業務を担当している。

イ 主要事務事業の実施状況等

① 行政マネジメント推進事業

[予算現額 9,113 千円 支出済額 1,115 千円 予算執行率 12.2%]

計画的かつ持続可能な自治体経営を行うことを目的として、総合計画の推進、行政評価の推進、行財政改革の推進、公共施設再配置の推進等に取り組んでいる。

② 創生推進人財育成プロジェクト事業

[予算現額 13,993 千円 支出済額 1,581 千円 予算執行率 11.3%]

まちと関わりを持ちながら活動や起業する「ASAGOING な人」が多くいる、生き生きとした魅力的なまちづくりを目的として、人財育成の土台づくり、中高生と地域がつながる場づくり、若者の起業支援等に取り組んでいる。

③ 路線バス等生活交通利用促進事業

[予算現額 22,850 千円 支出済額 4,210 千円 予算執行率 18.4%]

地域の実情に応じた持続可能な地域公共交通網の維持・確保を目的として、バスの運行評価・見直し、「あこか」の販売、「あこか」利用による路線バスへの減収補てん等に取り組んでいる。

④ 住みたい田舎移住促進プロジェクト事業

[予算現額 10,815 千円 支出済額 4,083 千円 予算執行率 37.7%]

移住の促進を目的として、定住情報の発信、あさご暮らし体験会の開催、空き家バンク事業等に取り組んでいる。

ウ 監査意見

① 創生推進人財育成プロジェクト事業に関すること

本事業では、まちを学びの場とし、主に対話や社会活動を通じた中高生・若者の成長支援、人財育成等に取り組んでいる。現在の中高生へのアプローチは市内向けが主となっているが、市外の学校に通う生徒も少なくない。今後は市外の学校に通う生徒に対しても同様に取り組む工夫が必要と考える。

(3) 市長公室 総務課

ア 事務分掌

主に市議会の招集・連絡調整、条例等の審査・制定・改廃、文書管理、情報公開、人事労務管理、職員研修、選挙等に関する業務を担当している。

イ 主要事務事業の実施状況等

① 職員研修事業

[予算現額 10,571 千円 支出済額 1,676 千円 予算執行率 15.9%]

時勢や住民ニーズに適切に対応できる職員の育成、行政に対する市民満足度の向上を目的として、市独自研修の企画・実施、他機関が主催する研修への職員派遣等に取り組んでいる。

ウ 監査意見

特になし

(4) 市長公室 財務課

ア 事務分掌

主に財政計画及び資金計画、予算の編成・配当・執行管理、公有財産の総括管理、入札、情報化施策の企画・推進、公共施設（建築関係）の建設・営繕等に関する業務を担当している。

イ 主要事務事業の実施状況等

① 庁舎内情報ネットワーク管理事業

[予算現額 42,752 千円 支出済額 9,272 千円 予算執行率 21.7%]

効率的かつ安全な庁舎内情報ネットワークシステムの確立と安定的稼働による行政サービスの充実を目的として、主に庁舎内情報ネットワークシステムの運用・管理等に取り組んでいる。

ウ 監査意見

① 和田山医療センター跡地に関すること

和田山医療センター跡地について、効果的な活用を図られたい。

② 基金の管理に関すること

基金の管理については、決算審査の意見の中で述べたところであるが、基金の設置目的等を考慮し、適切に管理されることを望む。

(5) まちづくり協働部 市民協働課

ア 事務分掌

主に地域振興及び市民協働施策、連合区長会、地域おこし協力隊等に関する業務を担当している。

イ 主要事務事業の実施状況等

① 地域協働推進事業

[予算現額 35,771 千円 支出済額 11,108 千円 予算執行率 31.1%]

市民や自治会等と連携・協力した市民自治のまちづくり、自立した地域自治の運営を目的として、主に地域協働のまちづくりの推進、地域おこし協力隊員の任用や活動支援等に取り組んでいる。

ウ 監査意見

① 地域自治協議会の支援に関すること

地域自治協議会の活性化を図る観点から、現行の地域包括交付金の在り方を見直し、各地域自治協議会がやる気を発揮する仕組みを検討されたい。

(6) まちづくり協働部 和田山地域振興課

ア 事務分掌

主に和田山地域の振興及び市民協働、和田山町区長会、イベントの調整・実施・支援、災害時和田山支所対策部の運営等に関する業務を担当している。

イ 監査意見

特になし

(7) まちづくり協働部 芸術文化課

ア 事務分掌

主に文化会館の管理運営、自主文化事業の計画・実施、和田山中央文化公園等の維持管理、あさご芸術の森美術館の管理運営に関する業務を担当している。

イ 主要事務事業の実施状況等

① 文化会館自主文化事業

[予算現額 23,120 千円 支出済額 0 円 予算執行率 0%]

新型コロナウイルス感染防止の措置として、4月から9月に実施を予定していた自主文化事業を中止又は延期としたため、9月末現在での予算執行はない。

② 美術館企画展事業

[予算現額 5,894 千円 支出済額 531 千円 予算執行率 9.0%]

市の芸術文化の振興を目的として、あさご芸術の森美術館において芸術性の高い展覧会を開催している。

ウ 監査意見

① 文化会館及び美術館の運営に関すること

市民や観覧者のニーズを捉え、利用者の増加を図ることは重要であるが、朝来市でしか感じるこのできない芸術文化に「市民がいかにかに触れ合い」「いかに感動したか」といった観点から、魅力ある芸術文化の提供を積極的に推進されたい。

② 物品の管理に関すること

文化会館において実地調査を行ったところ、古くなった音響機器やパソコン等の遊休物品・死蔵物品を確認した。使えるものかどうか、今後使用する予定があるかなどを十分検討した上で、必要に応じて廃棄等を行うとともに、台帳についても適時見直し、適切な物品管理に努められたい。

(8) 生野支所

ア 事務分掌

主に戸籍届出受付等の窓口業務、支所庁舎の管理、地域振興及び市民協働施策、生涯学習事業、生野書院の運営、生野財産区の運営等に関する業務を担当している。

イ 主要事務事業の実施状況等

① 日本遺産活用事業

[予算現額 1,997 千円 支出済額 440 千円 予算執行率 22.0%]

日本遺産を生かした観光産業の充実及び地域活性化を目的として、生野鉦山の学術的・文化的価値の調査研究やまちなみ案内の充実等に取り組んでいる。

② 黒川地域等活性化事業

[予算現額 3,139 千円 支出済額 2 千円 執行率 0.1%]

黒川地区の維持及び生野地域全体の活性化を目的として、黒川温泉やオオサンショウウオ等の観光資源を生かした事業実施を企画している。

ウ 監査意見

① 魚ヶ滝荘及び魚ヶ滝キャンプ場の在り方に関すること

魚ヶ滝荘は耐震基準を満たしておらず、また施設の老朽化が著しいため現在は宿泊やレストラン事業を休止している。一方、周辺の魚ヶ滝キャンプ場には年間 1 万人を超える利用があることから、キャンプ場を含むアウトドア施設全体の今後の在り方について、近年のアウトドアブームの動向にも注視しつつ、検討を進められたい。

② 生野鉦物館に関すること

生野鉦物館は、旧町時代からの経緯により普通財産として、現在、(株)シルバー生野に貸し付けられている。このたびの監査で当該施設の管理運営状況の実見を行ったが、当該施設は行政財産として位置付けるのが相応しいのではないかと考える。今一度財産の位置付けや管理運営方法について、在り方を検討されたい。

(9) 山東支所

ア 事務分掌

主に戸籍届出受付等の窓口業務、支所庁舎の管理、地域振興及び市民協働施策、生涯学習事業、ヒメハナ公園の運営等に関する業務を担当している。

イ 主要事務事業の実施状況等

① ヒメハナ公園整備事業

[予算現額 17,000 千円 支出済額 0 円 予算執行率 0%]

市民の憩いの場、親子のふれあいの場、多世代の交流の場として魅力的な施設を提供することを目的とし、園内遊具のリニューアルに取り組んでいる。

ウ 監査意見

① 庁舎用地に関すること

山東庁舎の庁舎用地が借地となっている。山東庁舎機能の安定運営のため、早期に取得する方向で事務を進められたい。

(10) 朝来支所

ア 事務分掌

主に戸籍届出受付等の窓口業務、支所庁舎の管理、地域振興及び市民協働施策、生涯学習事業、中川財産区の運営等に関する業務を担当している。

イ 主要事務事業の実施状況等

① 日本遺産活用事業

[予算現額 4,000 千円 支出済額 0 千円 予算執行率 0%]

観光振興、経済振興及び地域活性化を目的として、神子畑選鉱場跡地及び鉱石の道エリアの整備に取り組んでいる。

ウ 監査意見

① 日本遺産の活用に関すること

神子畑選鉱場跡を生かした観光、地域の活性化の推進については、神子畑地区にとどまらず、多々良木交流館やあさご芸術の森美術館、生野銀山、明延鉱山などの周辺施設や観光資源とも連携した事業展開を推進されたい。

② 行政財産の使用許可に係る収納事務に関すること

朝来庁舎及び生活改善センターの使用許可に係る収納事務の一部に検討を要する事項が見受けられた。適正な事務処理について、財務課等関係部局と協議されたい。